



No.21-020
2021年 4月 15日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央

オンライン常任幹事会

憲法に基づく外交路線への転換を
軍事・基地化反対の運動強化を

安保破棄中央実行委員会は
4月14日、常任幹事会を開き
ました。

東森英男事務局長が報告し、
16日に行われる日米首脳会談
で、米国の進める「インド太平
洋戦略」の「柱」として日本が
さらに大きく組み込まれ、沖縄
を中心とする南西諸島を戦場
とする危険性を指摘し、憲法に
基づく外交路線への転換を訴
えました。

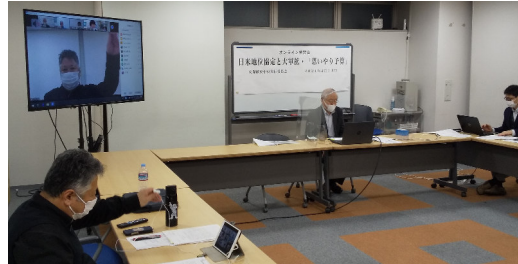
また、当面する国会でのデジ
タル関連法案、病床削減法案と
ともに、プライバシーの侵害
と、基地周辺などでの住民運動
への弾圧に使われる危険があ
る「土地利用規制法案」廃案の
たたかひの重要性を強調。各団
体と共同して早急に運動を進

めることを提起しました。

さらに、辺野古新基地設計変
更への沖縄県知事の不許可判断
を支持する全国での運動、沖縄
戦犠牲者の遺骨を含む土砂を辺
野古の埋め立てに使わせないと
りくみ、オール沖縄会議」が呼
びかけている「賛助会員」募集
の呼びかけに応じたとりくみ、
米軍機低空飛行中止、オスプレ
イ配備撤回、馬毛島の軍事基地
化反対などについて運動強化の
重要性を訴えました。

参加者からは「オール沖縄」
賛助会員のとりくみ方について
の要望が出されるとともに、馬
毛島基地化反対のたたかひや沖
縄連帯など、各団体のとりくみ
が紹介され、運動強化の意見が
出されました。

4月14日、オンライン学習会 全労連会館



意見交流では神奈川・横須賀、東京・横田、京都・京丹後、大阪、高知、沖縄などからの報告があり、東森英男・事務局長が地位協定抜本的改定に向けての署名活動や学習資料の活用など具体的な行動提起を行いました。オンライン学習会の参加者は79人でした。

安保中央 オンライン学習会 日米地位協定抜本的改定の運動を バイデン政権による日本の大軍拡反対

安保破棄中央実行委員会は4月14日、オンライン学習会「日米地位協定と大軍拡・『思いやり予算』」を開きました。

はじめに小泉親司常任幹事が、「バイデン政権の世界戦略と日本の大軍拡」と題して講演。バイデン政権のインド太平洋戦略と軍事分担政策に関して、「同盟の結束」を謳い文句に日米同盟の立て直しとともに、日米豪印の「クアッド」などの軍事態勢づくりで対中戦略を強化していると述べました。米戦略の具体化を進める自衛隊の軍事力の増強を、具体的な事例を基に説明し米国の軍事分担政策を遂行する菅政権の実態を訴えました。

次にジャーナリストの吉田敏浩氏は、「日米地位協定をめぐる動向と抜本的改定への課題」と題して講演。日米地位協定は、米軍に特権が与えられており、公務中の事故・事件の第1次裁判権は米側にあり、日本側には現場検証や事情聴取もできない状況を批判。米軍による低空訓練や騒音被害、部品落下などがあっても米軍言いなりの政府を変え、米軍への国内法適用など地位協定抜本的改定を訴えました。

安保中央のオンライン学習会「日米地位協定と大軍拡・『思いやり予算』」は安保中央のホームページで4月19日以降に視聴できます。

安保がわかるブックレット⑱ 渡辺 治 著
軍事同盟に代わる平和の枠組みを、今こそ
— 日米安保と憲法の攻防 —

コロナ禍で集会が十分開けない中、菅政権に代わる、新しい政治をめざす運動の学習テキストとして活用を呼びかけます。
頒価 500 円、大量活用の割引があります。詳細は、安保中央にお問い合わせください。